

ひらいずみ 議会だより



●主な内容

定例会6月会議

課題は山積！

町民に寄り添い解決を……………2

一般質問

ここが聞きたい

9議員が町の考えを問う……………6

常任委員会調査テーマ……………16

平和の祈り厳かに

世界遺産の日に合わせて中尊寺金色堂前で開催された「平和の祈り」では、平泉ユネスコ協会文化財愛護少年団が「世界平和へのメッセージ」を朗読し、世界平和の祈りを捧げました。

(関連記事 P20)

課題は山積!

消防車両のその後は

- 問 これまで古くなった消防車両の扱いはどうなっていたのか。
- 答 役場特設消防隊の車両として活用されてきた。役場特設消防隊の車両が充足している場合は廃車としている。



消防車両は必須 (第七分団)

周知の徹底を

- 問 昨年も実施された省エネ家電買換購入促進費補助金事業の周知方法は。
- 答 昨年度は町のHP、広報などを活用してきたが、今年は町公式LINEも活用していきたい。

町民の声



物価高騰対策に期待。昨年、この支援で冷蔵庫を購入しました。物価高騰の昨今、とても家計に役立ち助かりました。

あべ はつえ
阿部 初枝さん
(平泉字北沖)

地域おこし協力隊は3名から6名へ

- 問 地域おこし協力隊業務委託料が240万円増額された理由は。
- 答 今年度は、6名の地域おこし協力隊を任命している。国の方針で一人当たりの年額を40万円増額したため、その6名分で240万円増額された。



販路の拡大を

どうなる?学校給食費

- 問 食料費は高騰し、今後の見通しもつかない。給食費への影響はどのようになっているか。
- 答 価格上昇分を見込んだ額を補正予算に計上した。中学校では1食あたり44円の増額で対応している。

町民の声



給食費の値上げは、家計に影響するので行って欲しくない。給食費の無料化について、子育て支援の一環として取り組んで頂きたい。

なんとう あさみ
南洞 麻美さん
(平泉字志羅山)

町民に寄り添い

解 決 を

キャッシュレス決済の活用を

- 問 キャッシュレス決済の活用事業の進捗・利用状況は。
- 答 2月の10日間で総額900万円の利用実績がある。今後、旅先納税の実施を想定するなら、小店舗の電子決済の基盤整備が不可欠である。

町が主体で計画性を持って

- 問 地域課題事業として土側溝の整備等が扱われている。地域課題ではなく、事前防災策として町が実施すべきものではないか。
- 答 地域課題と町の課題の区分は必要である。情報共有をしながら、これまでと今後の取り組みを伝えていきたい。



整備を早急に (4区内)

町内農家の維持に向けて

- 問 営農継続農業機械支援事業補助金が補正予算に200万円組み込まれている。利用状況と評価はどうか。
- 答 労働軽減が図られ、営農意欲が高まったという声、今後もこの事業を継続して欲しいという前向きな意見があった。

町民の声



急遽機械が必要な時に、補助金申請が受けられないのはどうかと思うが、これからの営農を計画的に行う際に事業を利用することは、大いに助かる。ただ、バラキ感が無いように注意してもらいたい。要望として、町道を草刈りしている行政区や個人がいるので、そのところも考慮してもらいたい。

おの であ きんいち
小椋寺 金市さん
(長島字二反田)

定例会6月会議
定例会6月会議は6月6日から13日までの会期で開催されました。一般質問では9名の議員が登壇し、町の施策をただしました。

皆さんからの請願を審査しました

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、 2025年度政府予算に係る意見書

請願事項

- 1、さらなる少人数学級の検討
- 2、教職員定数改善の推進
- 3、学級編成基準の弾力的運用
- 4、義務教育費国庫負担割合の引き上げ

反対です	討論	賛成です
<p>法改正に則るべき</p> <p>大友 仁子 議員</p> <p>教職員の加配削減は行わないと法改正の附帯決議に明記されている。</p>		<p>より良い教育環境のために</p> <p>高橋 伸二 議員</p> <p>少人数学級は子どもたちへの丁寧な対応が可能であり、苦手分野の克服、得意分野を活かした学びが可能である。</p>

採択の結果、賛成多数で**採択**され、国へ意見書を提出しました。

議会に寄せられた陳情を公開します

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を

職員が庁舎内において、不当に政党機関紙の勧誘を受けたり、集金・配達行為等に応じていないかの実態調査と、心理的圧力を受けた職員がいれば、以後ハラスメントが起こらないように求める陳情がありました。

公務・公共サービスの拡充を

国の行政機関の機構・定員管理に関する方針の撤回、国家公務員の増員によって、国民のいのち・くらし・権利を守るための行政体制を確保すること等に関する陳情がありました。



議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会6月会議（6月6日～13日）

議案及び内容	関連ページ
条例一部改正	
平泉町町税条例の一部を改正する条例 (能登半島地震災害に係る雑損控除額等の特例を定めるための一部改正)	
平泉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴う一部改正)	
事件案件	
財産の取得（消防ポンプ自動車1台の取得3,190万円）	3
令和6年度補正予算	
一般会計（第3号） (定額減税補足給付金6,192万円、物価高騰対応低所得者支援給付金2,550万円、省エネ家電買換購入促進費補助金500万円、地域農業計画実践支援事業費補助金461万8千円、エネルギー価格高騰影響緩和支援金905万円など)	2・3
報告	
繰越明許費繰越計算書 (戸籍住民基本台帳事業1,395万3千円、物価高騰対応低所得者支援事業1,771万円、土木施設災害復旧事業966万8千円、農業用施設災害復旧事業350万円、農地災害復旧支援事業97万2千円を令和6年度に繰り越し)	
繰越明許費繰越計算書 (駐車場案内システム修繕事業465万5千円を令和6年度に繰り越し)	
議員発議	
総務教民常任委員会所管の調査事項	16
産業建設常任委員会所管の調査事項	17
広報広聴常任委員会所管の調査事項	
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書 (衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣へ提出)	5

議会定例会5月会議（5月30日）

議案及び内容	関連ページ
令和6年度補正予算	
国民健康保険特別会計（第2号）（前年度繰上充用金799万7千円増）	

賛否の公表

議案	議員名	賛否のあった議題												採決結果		
		小笠原 享	千葉 多嘉男	大友 仁子	氷室 裕史	阿部 圭一	三枚山 光裕	真筆 光幸	高橋 伸二	佐藤 孝悟	千葉 勝男	升沢 博子	高橋 拓生		賛成	反対
請願第1号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	-	8	3	採択
発議第12号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書の提出	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	-	8	3	可決

※採決に議長は参加していません。

ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業に状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。

平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

P 7 高橋 伸二議員

①健康福祉交流館経営の「地方独立行政法人化」

P 8 千葉 多嘉男議員

①子育て支援課・子ども家庭センターの設置に伴う事業内容

②放課後児童健全育成としての放課後児童クラブの運営

③小学校の学級編成及び教諭等の配当基準

④スクールガードの活動と人選

P 9 大友 仁子議員

①各種の予防接種事業

②役場窓口に利便性を

P10 小笠寺 享議員

①農業振興

②災害対策

P11 真筆 光幸議員

①生ごみの減量化の取組み

②少子高齢化による農業従事者の先細り対策

③改正障害者差別解消法への対応

④学校のデジタル化



※各議員の質問ページの氏名隣りのQRコードから、個人の質問の内容がご覧になれます。

議長交際費を公表します

4月分 17,000円
(各団体総会、歓送迎会、任命式会費など)

5月分 40,000円
(各団体総会、交流会、表彰式会費など)

6月分 14,500円
(各団体総会会費、平和大行進協賛金など)



※詳細はHPをご覧ください。

議会定例会 9月会議のお知らせ

9月9日(月)~19日(木) 開催予定

※本会議はインターネットで
生中継しています。

※傍聴にお越しください。



高橋 伸二 議員



問 経営コンサル
タントによる町
営温泉「活性化調査事
業報告書」を受けた町
の温泉事業の在り方
は。

町長 赤字が続く
町営温泉は
「固定費の削減」、「入
館料の改定」、「老朽化
した設備の更新」等、
課題は複合的であり、
対応を整理し、経営改
善に取り組む。

町長 固定費の削
減につながる
経費の節減に努め、入
館料を含む使用料の改
定、休館日の見直しに
向け検討を進めてい
は。

問 調査事業報告
書が示した「分
析結果と課題」に対
し、今後、町が取り組
む方向性と内容は。

町長 一般会計か
ら多額の繰り
入れの依存体質であ
り、早期に対応すべき
もの、慎重に検討し対
応すべきものを整理
し、改善の取組みを進
める。



経営改善を待つ「悠久の湯」

問 町が自ら主体
となつて直接実
施する必要のない温泉
事業を効率的かつ効果
的に行うことが可能と
なる「地方独立行政法

施設経営を独立行政法人化に

答 経営の法人化は研究・検討する

町長 町営であるが
ゆえに赤字体質
は今後も続き、収益化
は難しく、現状のまま
では収支の改善や繰入
金の減少に向かう見込
みは無い。

町長 町営温泉
は、町民の健
康維持増進、人々の交
流、福祉の向上と言う
理念は変えず町の直接
経営を維持したい。
しかし、固定費の引
き下げという経営課題
も抱えている中で、部
分的な経営譲渡や経営
手法の検討も必要であ
り、地方独立行政法人
法の活用を含め研究を
進める。

問 設備の更新無
くして温泉経営
の継続は困難である。
投資的経費の分析と財
源確保策は。

町民福祉課長 現在更新
費用の調査
を行っており、財政担
当課との協議を踏まえ
財源確保に努める。

町営温泉の経営課題は、特定の課や
利用者だけの問題ではない、町全体の
課題である。
町民と212人職員の知恵と力を、み
んなで出し合えば、隘路は開ける。

町長 健康福祉交
流館は、満足
度を幸福度という福祉
の心を育てる目的があ
り、皆の町民温泉とい
う理念を守りながら変
えていくべきところは
変え、内容をさらに精
査し示したい。



千葉多嘉男 議員

放課後児童クラブの土曜保育は

答 常時開所できるよう取り組む

問 放課後児童クラブの運営はどのように行われているのか。

町長 土曜日は、指導員の勤務調整なども踏まえ、希望者がいない場合には閉所している。指導員の募集確保に向けて、児童クラブと連携し、土曜日の開所について、常時開所できるよう協議を重ねながら取り組む。

問 支援員の配置が困難であれば、相応分について委託に加算するなど、利用者4人未満の場合でも開所すべきではないか。

子育て支援課長 すぎの子クラブは、月曜日から土曜日となっている。何らかの理由で配置が難しく毎週開所していない状況

である。解消に向けて適切な人数確保に向けて取り組みを進めている。

問 すぎの子クラブについては、部屋が手狭に感じられるが、面積基準を満たしているのか。

子育て支援課長 面積要件は満たしており問題ない。しかし6年生には狭いと思われる。隣の校庭をうまく利用していきたい。



常時開所できる児童クラブを

小学校の副担任の配置は

答 加配教員等に対応する

問 平泉小学校の1年生が33人のため1クラスとなっている。同小学校の2年生は36人のため2クラスである。数人の違いで1クラスとなった1年生の指導に当たる担任の負担はどうであるか。また、子供達一人ひとりへのかわりが不足することはないのか。担任以外の副担任の配置はあるのか。

教育長 教職員の数は、通常学級と特別支援学級の数に応じて配置されている。平泉小学校に限り特別に副担任を配置することは難しい。学校が個々に抱える課題解決のため、加配教員が1名配置されている。

る。町独自で特別支援教育支援員が5名配置されており、児童一人ひとりへの関わりを最大限確保できるよう努める。

問 町長と教育長は、人数の多いクラスを見に行く機会を設けて頂き実態を把握するべきではないか。

教育次長 これまでも教育委員会では学校へ出向き、子供たちの様子を見ている。町長の学校訪問は今後検討する。

その他の質問
・子育て支援課・こども家庭センターの事業内容



多人数クラスに副担任を

初議会で一般質問は緊張して思い通りの発言が出来なかった。自己採点は30点

・スクールガードの活動と人選

予防接種の徹底を

答 情報発信を進める

問 子宮頸がんにより年間約一万一千人の女性が罹患し、約2900人が亡くなっている。検診受診率は3割である。受診率向上への取り組みは。

町長 受診率向上のため、20歳から60歳までの5歳刻みの方を対象に、節目検診無料券の配布や、検診の受診勧奨、再勧

奨などを実施している。

問 HPVワクチンキャンペーンは、最終年度である今年度の接種期限を迎える高校1年生から27歳相当の未接種者への対応策は。

町長 通知による接種勧奨と、広報や子育て応援ナビなどを活用した情報発信を進める。

事例はあるか。

教育次長 今までのワクチンに対する授業や講演などは、実施していないが、今後検討する。

問 带状疱疹予防ワクチン接種率は2割となっており、今後の接種勧奨と助成の拡大は。

町長 費用助成対象者には、個別に案内文書で周知徹底に努める。助成の拡大は考えていない。



おおとも さとこ 議員



問 厚労省審議会による、ワクチンに関する情報を見聞した情報源について、学校での授業や講演では、13・9%との認識を示した。今まで、小中学校において、この様な

役場窓口の利便性の向上を

答 現状に合った窓口を検討する

問 軟骨伝導イヤホン、耳の軟骨部分に軽く触れる程度に振動子を装着するだけで、良好な聞こえを確保出来る。また、小さな音でも明瞭に聞こえる軟骨伝導イヤホンを役場窓口を導入する考えはないか。

町長 今後は、高齢化が進むなど、聞きにくさへのサポートが多くなることなどが想定される。窓口を利用される住民の要望や状況を踏まえ、来庁者とのコミュニケーションが、円滑にとれるような窓口の

問 役場窓口にて、タブレット端末で、町外からの転入や転出、町内転居の手続きに「書かない窓口」を導入する考えはないか。

町長 庁内で組織するDX推進ワーキンググループ会議で本年度の検討事項となっている。今後、現状に合った窓口と、タブレット端末導入の必要性を検討する。



書かないワンストップの窓口へ

「何度も同じ項目を書かされる」「都度、窓口で待たされる」「複数の窓口に戻される」などの課題を「書かないワンストップ窓口」に期待する。



小笠寺 亨 議員



休耕田の有効活用を

耕作放棄地の対応策は

答 地域計画の目標地図を作成・検討

問 地域の耕作放棄地が増加し、農業従事者への負担は大きい。新規就農者はいらぬのか。また、町内の他の地域からの協力は得られているか。

町長 令和元年からの5年間に6人が新規就農し、長期的に支援を行いながら中心の担い手として期待している。また、行政区間を越え営農している方もいるので農業者間での協力も得られると考えている。

問 令和5年9月現在、若手県内では異業種から95法人

が農業参入している。町内で参入している法人はあるか。

町長 現時点では当町において農業参入している異業種法人はない。

問 現在の担い手は年齢層が高く、危機感を持って農業に取り組んでいる。企業参入や特定地域づくり事業協同組合制度の取り組み等、いろいろな観点から早急に取り組んでいくべきではないか。

副町長 来年3月末までに作成する地域計画の目標地図を基本に、担い手と地域住民の方々の意向を踏まえ、集積や農業法人といった具体的な内容を盛り込みながら検討していく。

問 町の防災マップに、災害警戒区域内に避難場所を指定している箇所が見受けられる。災害の種類により詳細な避難場所を指定することで、支援対応を円滑に行うことができるのではないか。

町長 詳細位置を把握しておくことは、迅速な避難行動が可能であり、人員の調整や必要な物資確保の計画ができ、効果的かつ安全な避難につながる。新たな防災マップは、地域の実情と防災情報が反映できるように取り組む。

問 災害発生時の支援物資不足が



安心安全な避難と避難所の構築を

問 町防の防災マップに、災害警戒区域内に避難場所を指定している箇所が見受けられる。災害の種類により詳細な避難場所を指定することで、支援対応を円滑に行うことができるのではないか。

町長 各種13団体と災害協定を締結している。今後も、民間事業者との締結に向け協議の申入れをおこなう。

農業問題は、全国的な問題。とはいえ手を拱いている訳にはいかない。平泉らしさを追及し皆さんと解決して行きたい。

災害物資支援の締結状況は

答 13団体と協力協定の締結

考えられるが、現在の民間企業との協力協定の締結状況は。

生ゴミの水切りの周知は

答 広報で意識啓発活動に取り組む

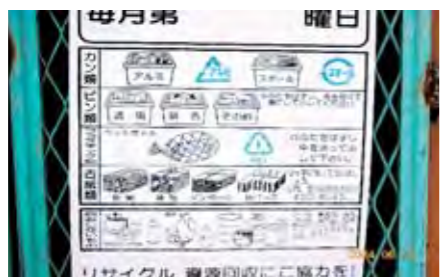
問 平泉町の燃えるゴミは年間1680トである。その内生ゴミが504トうち水分が403トである。生ゴミを水切りすると302トとなり、年間12%のゴミ焼却量の減少ができる。こうした具体の数字を示して、協力を促す取り組みをすべきではないか。

町民福祉課 広報での周知を図り

問 生ゴミ処理機導入補助制度を平成27年に廃止しているが、復活する考えはないか。

町民福祉課 そうした要望があれば検討したい。

問 ゴミ分別の仕方が欲しい。役場町民ホールへの現物掲示や収集所へのイラストによる分別の仕方の貼り出しなど、具体の取組みをすべきではないか。



分別のルールを具体的に周知している自治体

町民福祉課 一関地区広域行政組合の発行している情報誌やアプリを活用されたい。

問 農福連携や農的関係人口づくりなど、新たな視点に立つ農業従事者確保の展望はどうか。

町長 農的関係人口創出は、将来的な農業従事者確保対策の鍵を握ると捉えている。

問 平泉の水田の耕作面積は、2010年から2020年の10年間で181畝減少した。担い手は60代と70代であり、20年すれば引退する。その後の展望を伺う。

副町長 町として方針は定まっていな。今後農業の厳しい状況を打開するための検討をしていく。

問 広域的地域活性化基盤整備法を活用して、週末に平泉で農業をする2地域居住の推進策の検討をすべきではないか。

副町長 議員の意見も踏まえ検討したい。

人口減少にあえぐ地方の活性化の手段として、地方と都市の双方に生活拠点を持つ二地域居住を促進する法案が成立しました。地方の活性化の転機になります。



増える耕作放棄農地



真筆 光幸 議員



新たな農業従事者の確保は

答 将来的な農業従事者確保の鍵を握ると考える

副町長 議員の意見も踏まえ検討したい。

- その他の質問
・改正障害者差別解消法への対応
・学校のデジタル化



ますざわ ひろこ 議員

5歳児検診実施の検討を

答 必要性を認識、準備を進める



問 母子保健と児童福祉の一体的な支援を行う「子ども家庭センター」が4月に開設した。業務の一元化は子育て支援の強化につながるか。

町長 両機能を一体的に運営することにより、連携・協働が深められ、個々の家庭に応じた相談支援が図られ、効果的な支援事業の推進に繋がります。

問 発達支援事業について、乳幼児健診や保育現場での気づきから、適切な支援に繋がっているか。

子育て支援課長 就学前から必要な場合には、児童発達支援事業や、発達支援教室に繋がっている。子どもの特性に応じた関わり方を学ぶ

「ペアレントプログラム」への参加も促している。

町長 健診や保育段階の気づきが重要であり、必要性を認識している。実施には医師などの専門職の確保が必要であり、教育委員会などと協議しながら準備を進めていく。



子どもたちの元気な声が響く二葉きりり園

問 平泉幼稚園の入園児が減少しているというが、現状はどうか。

教育長 令和6年度は3歳児2名、4歳児2名、5歳児9名となっており、今年度からは3歳児4歳児クラスは複式学級を導入している。

問 平成27年の国の子ども・子育て支援新制度の導入により幼稚園と保育所の良さを併せ持つ「認定こども園」の設置が推奨されるようになった。当町は他自治体に先駆け幼保一体的な建物で運営しているが、幼稚園児数の減少による

幼稚園・保育所を「こども園」に移行に向けて協議する

り、幼児教育と保育のバランスを欠いているのではないかと。改めて、教育と保育の基本機能に則ったこども園化を図る時期ではないか。

教育長 子育て世帯を取り巻く環境の変化により、幼稚園単体での集団生活、活動が困難となっている。そのため認定こども園の移行に向け、関係機関と協議していく予定である。

教育部の中に子育て支援課を置いて、一体的な機構にしている町も。課題共有しやすそうですね。



さんまいやまみつる 議員

土地改良区の賦課金減額を

答 協議しているが、再度研究したい

問 食料・農業・農村基本法の改正案が自民、公明、日本維新の会の賛成多数で成立した。最大の問題は、食料自給率を国政の課題から事実上投げ捨てていることだ。町の認識を伺う。

国際情勢の変化を踏まえたものと認識している。

町長 食料自給率向上に加え、食料の安全保障の確保に関する目標を新たに設定する改正である。

問 現行法には食料自給率の目標がある。改正で独立した食料自給率の目標が「その他のもの」と一緒にされた。その内容は輸入に頼るものとなっている。担当課では新旧改訂を把握しているのか。

副町長 公文書は未達であるが、ネットや新聞等で報道されて特徴は把握している。



負担金の負担軽減を

大な負担となり、担い手不足にも拍車をかけている。国土保全、食料の問題は国が責任を取るべきではないか。町が行う省庁交渉の要望に入れることは検討できないか。

問 米農家は時給10円にも満たないと言われている。土地改良区の賦課金が過

町長 町独自の方面ながら、町村会や県とも連携しながら既に行っている部分もある。特に転作の支援金に関

子どもの国保税の減免を

答 現行方式の均等割課税で

問 国保税の引き下げについて、18歳まで減免できないのか。また、国保の対象は何人で、必要な金額はどの程度か。

事務課長 現在、未就学児は20名である。小学1年生から18歳までの人数は52名である。全額減免に必要な金額は合わせて123万3000円と試算している。

問 国保税は地方行政の中でも最大の課題と言われている。減免に必要な額は123万3000円と決して大きな額ではない。基金が多い金ケ崎町は大幅引き下げを行った。平泉町も引き下げはどうか。

町民福祉課長 基金残高は令和5年度末で1億5000万余である。賦課方式を

今年度から3方式に変更し、当初予算の中では財政調整基金から1000万円ほど所得割に移行し緩和措置をとっていく。引き続き、現行方式の均等割課税で考えている。



驚いた！改正「食料・農業・農村基本法」農家も役場も認識が薄い。食料自給率目標の投げ捨てと輸入重視に。食料不足は芋作れ！罰金刑も。戦前と同じ？



阿部 圭二 議員

給食費無償化で子育て支援を

答 関係課と検討していく



子どもに無償で給食を

問 学校給食費無償化は、全国の自治体に広がり、国の認識を変えてきた。当町も無償化を実現するべきではないか。

町長

経済的に給食費の支払いが困難な家庭は存在している。物価高騰のため、保護者の負担は過大となり、賄い材料代の増額分を負担し、給食費の値上げしないよう努めてきた。給食費無償化は課題を整理し、関係課と研究を進めていく。

問

県内で11の市町村が、全国でも3割に近い市町村が学校給食費無償化を始めている。

町長

令和3年度の合計特殊出生率（1人の女性が産む子どもの数）は0.98である。子どもを増やすには、学校給食費無償化が必要ではないか。

教育次長

無償化自治体は、子育て支援という形でやっている。各課と検討していく。

問 日常生活を快適に過ごすことができるように補完するものが補聴器である。補聴器の補助自治体は増えているが、当町の考えは。

町長

難聴の防止には、生活習慣対策が重要である。加齢性難聴は、認知症や「うつ」のリスクを高めるため、補聴器購入の費用助成を実施する自治体が増えている。しかし、補聴器で認知症が予防できるものではなく、社会的孤立の予防が認知症の予防策として重要である。

問

60代後半の3分の1、75歳以

フレイル対策に補聴器を

答 百歳体操で予防に努める

日常生活を快適に過ごすことができるように補完するものが補聴器である。補聴器の補助自治体は増えているが、当町の考えは。

保センター長

認知症に予防と共生が必要である。バランスのとれた食生活も重要である。難聴に限らず「百歳体操」は重要であり地域の皆さん

と取り組んでいく。

※フレイル：加齢に伴い、心身の活力が低下した状態を指す。

5年平均の合計特殊出生率は金ケ崎町が県内1で、給食費無償化を始めました。平泉町こそが行うべきではないでしょうか。



難聴者でも百歳体操を

道路整備の優先順位は

答 生活道路整備評価基準を基に

問 道路整備の要望は、地域・個人を問わず町民から多く寄せられているようだが、優先順位はどのように定められているのか。

町長

令和5年度に作成された生活道路整備評価基準を基に選定している。詳細な評価基準項目は、道路網としての重要度、居住割合、利便



永室 裕史 議員

問

町道樋ノ沢大佐線の整備内容と近隣の町道の改良・舗装の必要性をどのように考えているか。

町長

令和9年度の完成を目指し、町道樋ノ沢大佐線と町道大佐3号線を合わせて幅員5m、640mにわたってアスファルト舗装で整備



令和9年度完成予定の大佐3号線

通学路の安全確保は

答 危険個所の点検を実施



歩行者の安全確保を（町道倉町線）

問

平泉町通学路交通安全プログラムには、町道倉町線に児童と車の接触の危険性があると記載されている。道路改良の予定も記載されているが、現状は。

建設水道課長

危険性は認識し、100mほどの歩道の設置を予定している。予算はまだ計上しておらず、通学路交通安全プログラム等を含めた総合的な見地で判断していく。

問

町道祇園線の黄金沢からの大きな道路を子どもたちが利用するため、横断歩道の設置が必要とあるが、今後の展望は。

建設水道課長

公安委員会の調査の結果、道路を横断する児童生徒数が少なかつたため、設置は見送りとなった。しかし、少数ながら横断する児童はいるため、引き続き要望していきたい。

問

町道新井田線が多い反面、防犯灯が少なく夜間は危険である。防犯灯を増設すべきではないか。

建設水道課長

安全確保の観点から可能な限り対応していきたい。

道路は生活の上で、不可欠でありながら危険をはらんだものでもあります。安全確保は急務です！

産業建設
常任委員会

調査テーマ

1. 社会基盤整備
2. 農業振興策
3. 観光・産業振興策

所管事項への質疑

景観条例の見直しを早急に

景観条例の見直しの進捗状況は

- 問：今後の具体的な条例の見直しに向けたスケジュールは。
- 答：5月16日に都市計画マスタープランを発注している。これから、打ち合わせを行い、進めていく。
- 問：産業建設常任委員会として出した17項目の提言書をしっかりその打ち合わせの中に反映されるのか。
- 答：その内容も含めて、都市計画マスタープランに反映していく。

町民の声



歴史ある平泉の景観を継承するために規制は必要ですが、これから平泉に家を建てて住みたいという若い世代の意欲を削ぐほど厳しい制限は住みづらい町になるだけなので、民意に沿った見直しと段階的にでも緩和していくような条例に改正にしてもらいたい。

いしかわ ゆうき
石川 祐規さん (長島字野田)

農福連携で人手不足解消へ

- 問：14区に開所した「ねぎまーる」は、農福連携事業だが、当町は携わっていないのか。
- 答：事業は、5月に開所したばかりで認識はしているが、必要であれば今後協議をしていくことになる。



駐車場の活用を

町のLINEなどで周知徹底を

- 問：スマートインターチェンジ駐車場でのイベント情報の周知方法は。
- 答：今年4月2回開催され、今後も3件ほど協議を受けている。周知は、町のホームページに掲載している。
- 問：町が発信しているフェイスブックや、地域おこし協力隊が開設したLINEなどを活用した町の情報発信ツールを使って、より積極的な周知方法を検討すべきでは。
- 答：周知方法については不足している認識はある。予算の関係もあるが、今後検討する。



総務教民
常任委員会

調査テーマ 人口減少対策について

町民の声



いしがみ わかこ
石神 和歌子さん (平泉字倉町)

年々人口は減少し、空き家・空き店舗が増え、活気が薄れています。平泉町の特徴を活かした若者の住みたくする持続的な移住・定住対策をして欲しいです。



所管事項への質疑

委員会では調査テーマの他に、所管事項への質疑も行っています。

新たな企業誘致を

- 問：大平土取り跡地への新しい工業団地の検討は行っているのか。
- 答：国道4号線の4車線化に合わせた整備を検討している。
- 問：スマートインター周辺の土地開発については。
- 答：経済状況が持ち直してきた現在、当初予定していた事業者参入について、今年度中に話し合いを進める予定である。



新たな工業団地を



平泉のアピールを

受託事業者の変更を

- 問：ふるさと納税の受託事業者の変更について。
- 答：委託して3年を経過し、新たに事業者を募り3件によるプロポーザルの結果、新事業者が決定した。
- 問：事業者変更の経緯は。
- 答：納税額の成果が伸び悩んでいた。新事業者は委託料減額の条件もあり、今後は目標額5,000万円とし運営サイトの追加などにより納税強化に取り組む。

議会だより
モニター
コーナー

前号(183号)について
モニターの皆様から
ご意見をいただきました。

すずき せつろう
鈴木 節郎さん

- まだ文字が小さく読みづらい箇所がある。
- QRコードの活用は非常に便利で良い。

まごめ ともこ
眞籠 智子さん

- 字が小さすぎると読みにくい。工夫が必要では。
- 議会への関心を引き付ける構成になっており良い。

こうの あやか
河野 綾華さん

- 全体的に色の使い方にもう少し工夫が欲しい。
- 一般質問は、まとまりがあって良かった。



会議風景

あさり きよひろ
浅利 清廣さん

- 議員紹介は公約の他に経歴等の情報も欲しかった。
- 請願のその後が記載されているのが良かった。

こいわ よしふみ
小岩 義典さん

- 議会構成は写真を除いて、氏名だけでも良いのでは。
- 予算について各委員の意見が記載されているのが良い。

厳しくも愛のある意見が

前号から議会だよりはカラーになり、今回は特に配色面でのご意見を多くいただいた気がします。広報広聴委員会としても今後の課題として改善していきたいと考えています。まだまだ全体的な構成、町民の皆様を惹きつけるための特集記事等、試行錯誤の段階ですが、今後もより良い議会だよりの作成に向け、取り組んでまいります。

より良い町民の暮らしのために

平泉町議会では、近隣市町村と連携し、行政課題を共有しています。また、合同で研修を行い、各議員の問題意識の醸成を図っています。

防災意識の向上を

5月24日、ホテルグランドプラザ浦島において、栗原市、登米市、一関市、平泉町の議員が集まり「自治体DX」「防災・減災に向けた取組について」等についての研修が行われました。



自治体間の横のつながりを



地方自治は課題が様々

これからの地方自治は

5月31日、岩手県自治会館において「超高齢・人口減少社会における自治体経営」「これからの町村議会議員のあり方」等について研修を受けました。特に議員定数・報酬のあり方の取り組みについて学びました。

議会も環境整備に

6月23日、平泉町議会と事務局で高館橋西側の清掃を行いました。20年以上前から清掃は毎年行われており、今後も環境美化整備に努めてまいります。



事務局も参加しての環境整備

表紙の紹介 「平和の精神 守り伝えて」

平泉ユネスコ協会文化財愛護少年団の歴史は古く、昭和48年に結成、51年間にわたり、ユネスコ憲章に基づいた様々な活動を行っています。

現在団員は平泉小学校の4年生から6年生までの10名です。

昨年からは浄法寺小学校天台寺文化財保存会の子ども達と交流が始まり、お互いの文化財の見学、勉強会などを行っています。

また毎年8月15日の「平和の鐘を鳴らそう」運動では中尊寺本堂の梵鐘を世界平和の祈りを込めて打鐘しています。

「世界が平和で穏やかになりますように」「みんな笑顔で暮らせますように」など、一人一人がメッセージを読み上げ、世界遺産の日に相応しい願い、宣言文になりました。



代表の平泉小学校6年、^{みじわらそう}藤原颯さん、^{かねたあきと}金田秋人さん

あとがき

4月の改選後に議会広報編集特別委員会は、新メンバーとなり、新たに広聴の役割を加えて広報広聴常任委員会となりました。

これまでの議会だよりの編集作業に加え、町民の皆さまの声を拾う役割も担うこととなりました。新設された常任委員会ということでも、まだまだ手探りな部分もありますが、町民の皆さまの福祉向上

これまでの議会だよりの編集作業に加え、町民の皆さまの声を拾う役割も担うこととなりました。新設された常任委員会ということでも、まだまだ手探りな部分もありますが、町民の皆さまの福祉向上

という最大の目標に向けて努めてまいります。氷室裕史

編集スタッフ

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
升沢	阿部	千葉	小笠	大友	氷室
博子	圭二	多嘉男	寺享	仁子	裕史

平泉町議会史を販売します

平泉町議会史第二巻を発行しました。本史は、昭和62年1月から令和5年12月31日に至る37年間の平泉町議会の記録及び資料を収録いたしました。



【価格表】

名称	価格	規格(縦×横×厚さ)	発行
議会史 第二巻	6,000円	26.5cm×19cm×3.5cm	令和6年3月
議会史 セット (第一巻・第二巻)	10,000円		(第一巻) 昭和62年11月

☆議会史の購入方法について☆

購入希望の方は、下記販売窓口へ直接お越しいただくか、申込書と代金及び送料を同封の上、現金書留によりお申込みください。(1冊)520円、(2冊)700円～1,630円(地域により金額が変わります。)で発送させていただきます。

お問い合わせ先

平泉町議会事務局 Tel0191-34-5595

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

